

沿岸水産資源の持続的利用の推進及び新漁場等の調査

II 沖合漁場調査

漁業資源課

田ノ本 明彦・浦 吉徳

1 目的

高知県沖合の海山や大陸斜面露岩域の水深200mから600m付近まではキンメダイ、ムツ、メヌケ類の深海性有用底魚類の漁場として重要性が高い。そこで、新調査船に装備したマルチビームソナーにより正確でわかりやすい海底地形図を作成して漁業者に提供し、操業利便性の向上を図る。

2 方法

調査には県漁業調査船「土佐海洋丸(80トン)」を使用した。海底地形調査ではマルチビームソナー(Kongsberg Maritime製 EM710RD)を用いて探査した。測位にはDGPS受信機(古野電気製 GP-150)を用いた。

平成22年度は、室戸岬南方と安芸沖で調査を実施した。調査海域及び調査日を表1及び図1に示した。

表1 調査海域と調査日

調査海域	調査日
安芸沖（安芸海底谷）	H22年8月23日・H22年8月26日
室戸岬南方（室戸海丘北部）	H22年8月24～25日

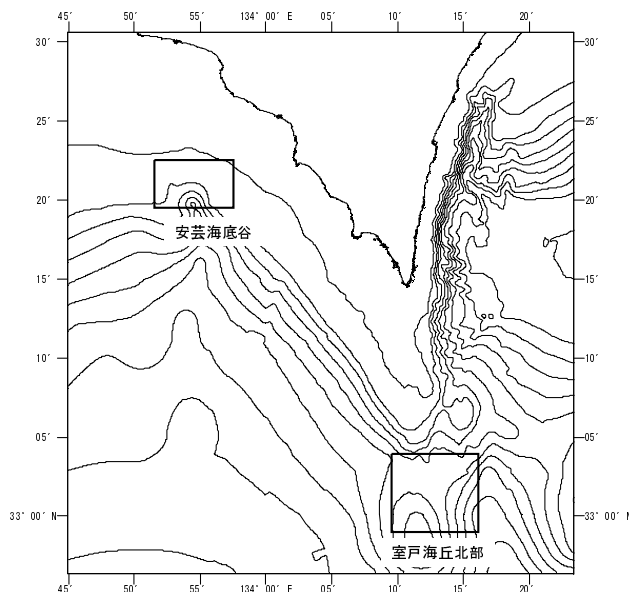


図1 調査海域

3 海底地形調査の結果

各調査海域の調査コースを図2、5に示した。調査コースの間隔は、水深及びマルチビームソナーの走査幅等を考慮して、0.17~0.34マイル間隔に設定した。

得られたデータについては、データ解析ソフト（海洋先端技術研究所製 Marine Discovery）でスパイクノイズ等を除去した後、グリッド補間をおこなった。グリッド補間を行ったファイルをもとに、データ解析ソフト（環境シミュレーション研究所製 Marine Explorer）で作成した等深線図を図3、6に示し、3D画像作成ソフト（海洋先端技術研究所製 ScanSwell）で作成した3D画像を図4、7に示した。

(1) 安芸海底谷

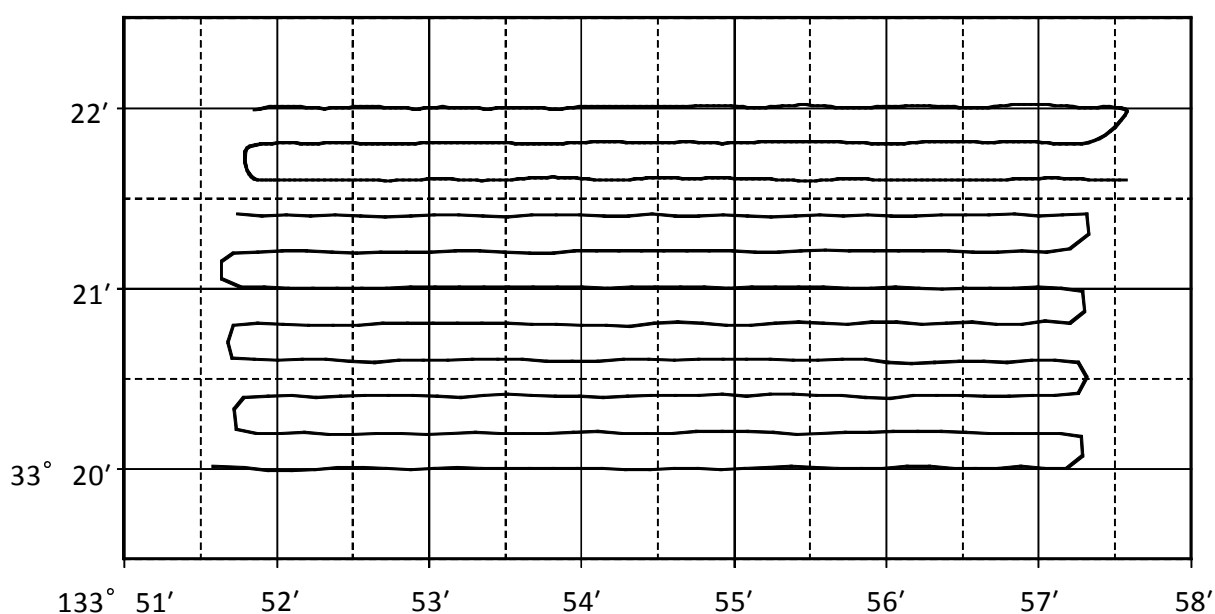


図2 調査コース（安芸海底谷）

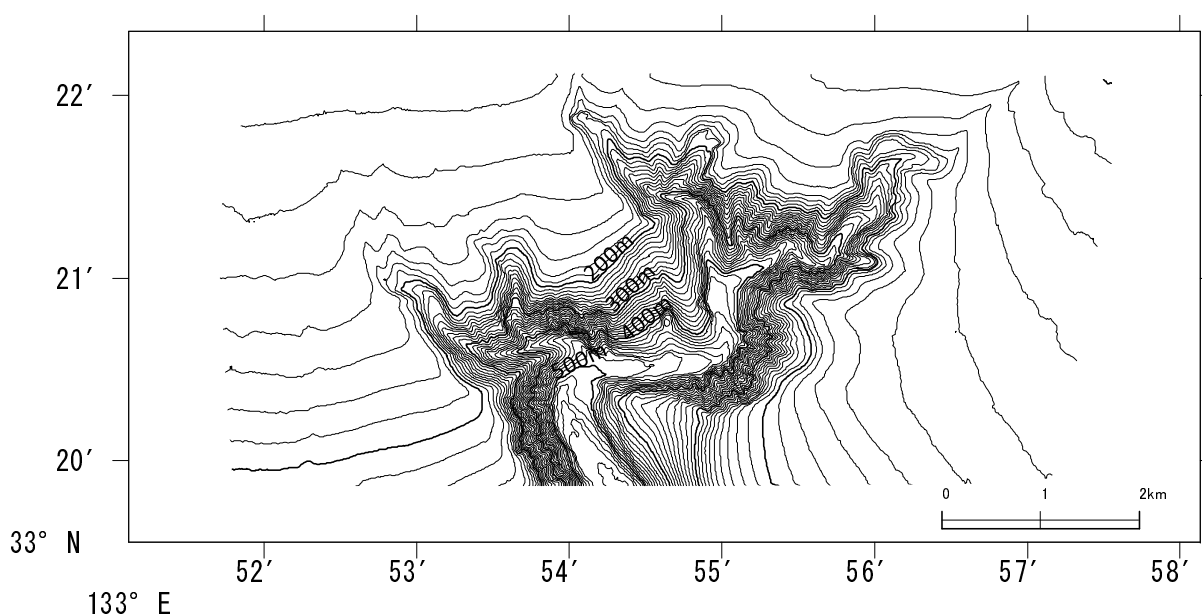


図3 等深線図（安芸海底谷）

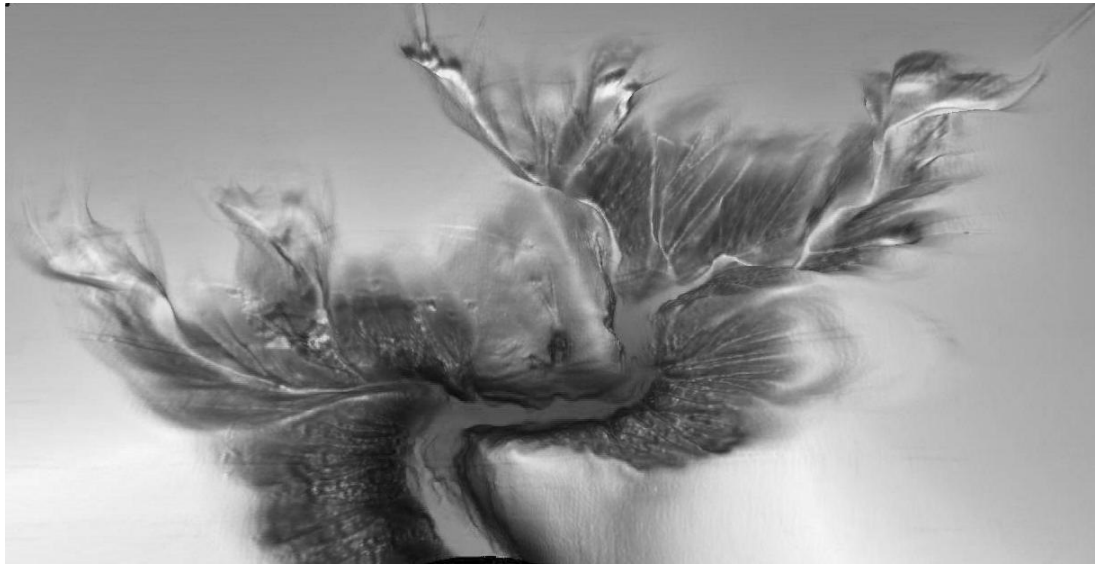


図 4 3D 画像 (安芸海底谷)

(2) 室戸海丘北部

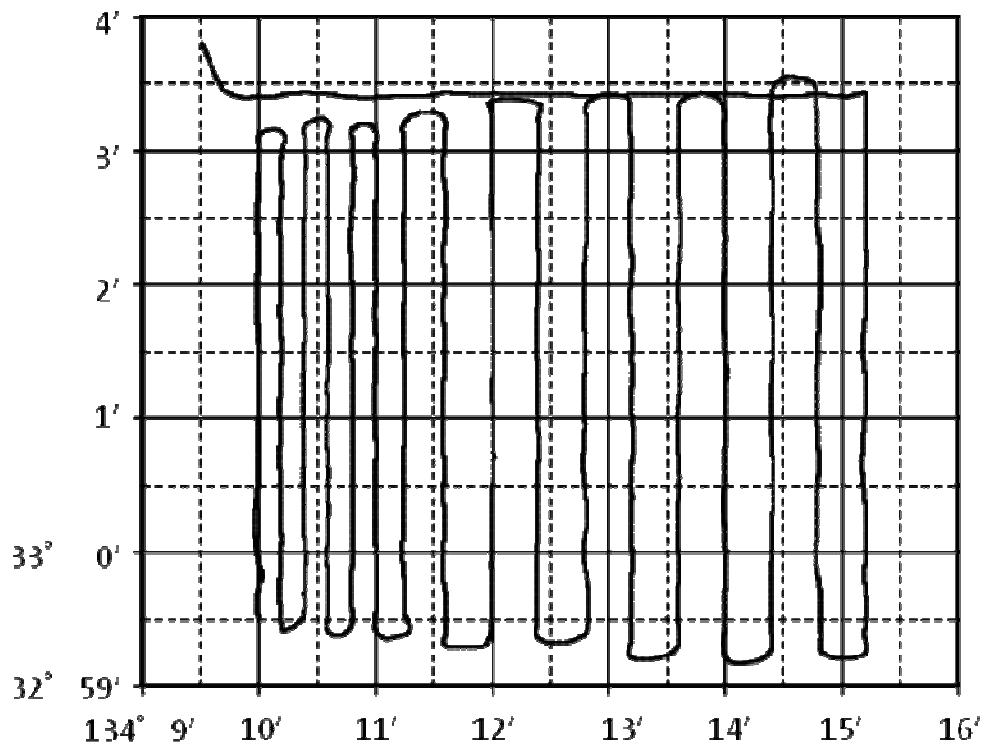


図 5 調査コース (室戸海丘北部)

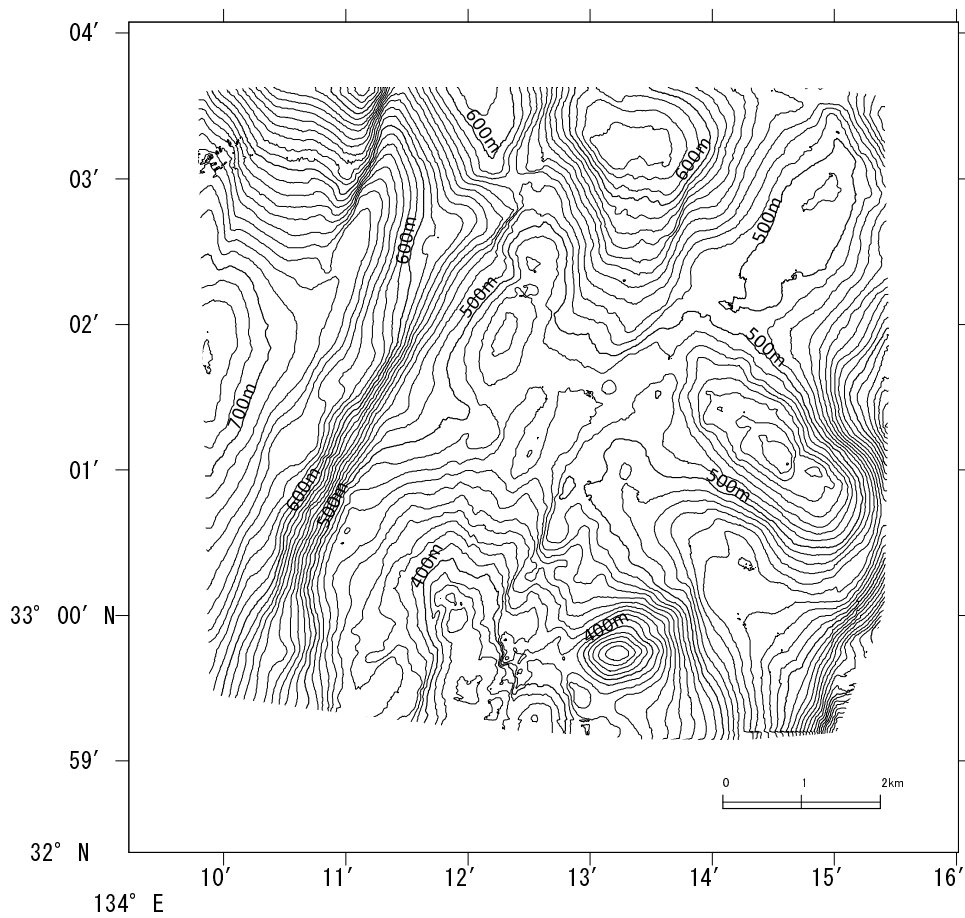


図 6 等深線図（室戸海丘北部）

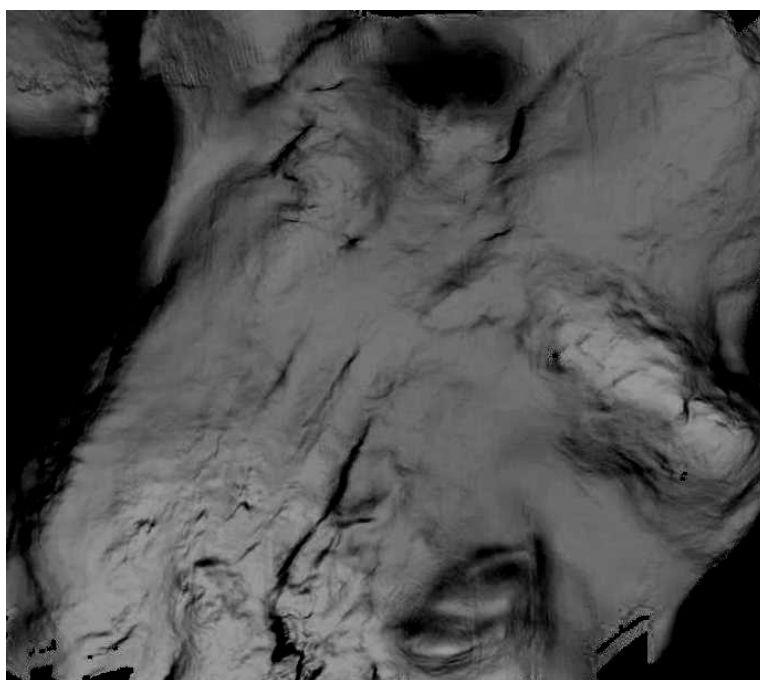


図 7 3D 画像（室戸海丘北部）